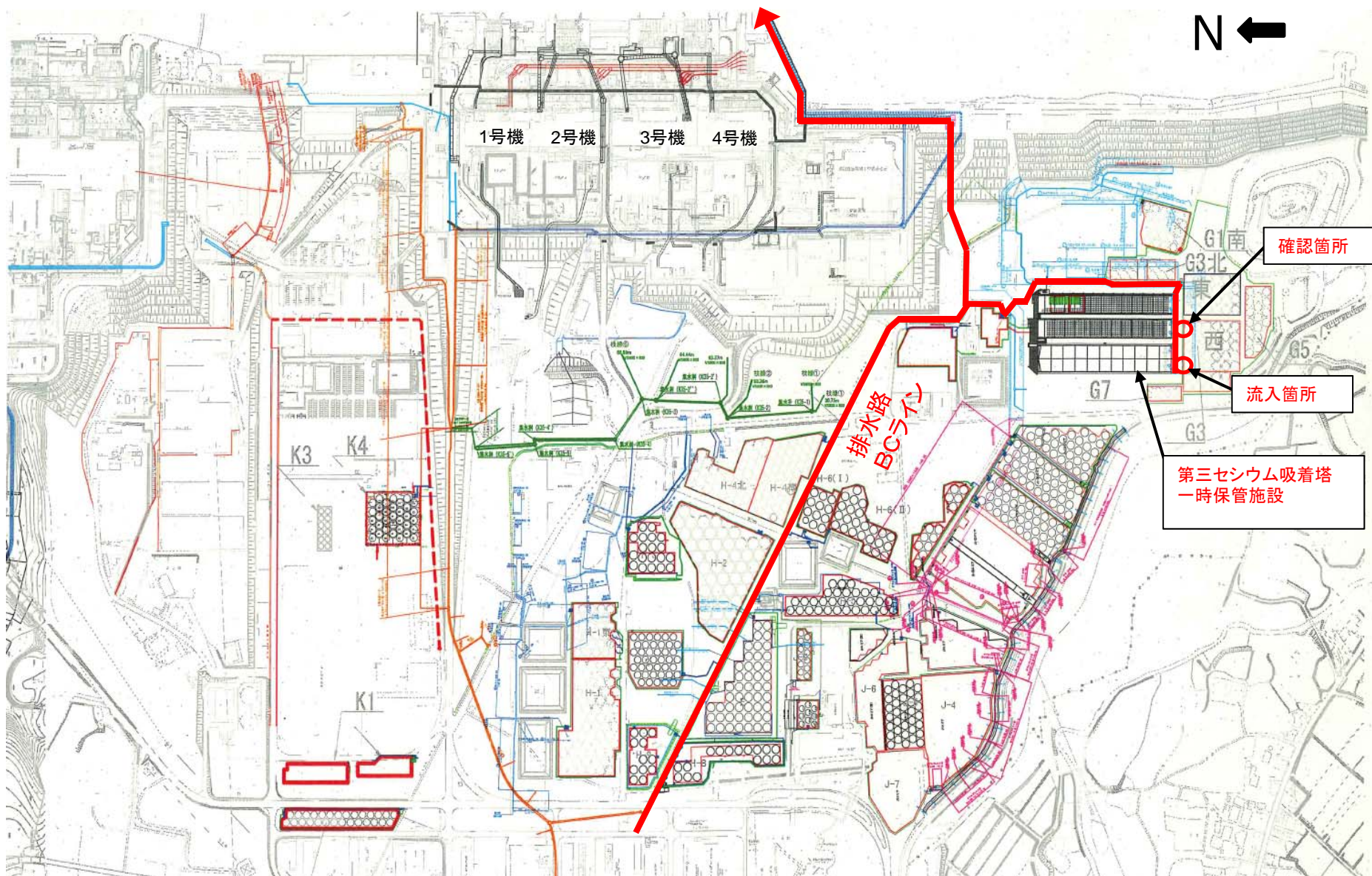


- 7月26日午前10時20分頃、第3セシウム吸着塔一時保管施設西側に駐車している25tトレーラから油が漏えいしていることを当社社員が発見しました。
- 現場確認の結果、近傍の道路側溝へ油の流入が確認されているが、35m先の目視可能場所で油は確認されておりません。路面の油漏えい範囲は約10m×1.5m、現在、トレーラからの漏えいは停止していることを確認しております。
- 油の拡大防止処置として、路面上に対しては吸着マットによる油拭き取りを実施。側溝に対しては、35m先目視可能箇所部分で土嚢の設置が完了し、吸着マットによる油拭き取りを実施しております。
- なお、近傍の道路側溝へ流入した燃料油は、流入箇所から下流側35m先の直接目視できる箇所へ至っていないことを確認したことから、排水路および海への流出はないと判断しています。
- 本件は、7月26日に消防署から「車両からの油漏えい事象」と判断されています。
- 引き続き、原因を調査し、適切に対策を講じてまいります。

# 【参考】 第3セシウム吸着塔一時保管施設付近の状況



## 【参考】 燃料が漏えいしたトレーラ

東側から西側へ向かい撮影



北側から南側へ向かい撮影



【参考】燃料が漏えいしたタンクの写真



吸着材による回収作業中



吸着マットによる油の回収作業中



【参考】側溝内の土嚢、吸着マット設置状況

